



ふれあい

URL <http://www.tkgh.jp>

E-mail general@tkgh.jp

発行所 総合病院 土浦協同病院 発行人 家坂 義人
〒300-0053 茨城県土浦市真鍋新町11-7 TEL029-823-3111

精進湖 撮影者：香取 逸美



謹賀新年
本年もよろしくお願いいたします。



平成26年度年頭に寄せて



病院長 家坂 義人

新年明けましておめでとうございます。平成26年の年頭に当たり、ご挨拶を申し上げます。

44年前に310床で土浦協同病院はスタートしました。施設の老朽化・手狭さから、皆様に多大のご負担をお掛けしております。念願の新病院建設が来年12月のオープンに向け、市内おおつ野の地で着々と進んでおります。“地域でいつでも安心して受けられる救急・高度先進医療”をキャッチフレーズに、本年は新病院へ向け医療体制を更に強化・拡充して参ります。いかなる医療ニーズにも応える使命感、患者の立場で人間尊重を第一義とする倫理観、高度医療に常に取り組む専門性の3点を唱った、医療理念を支えに当院は今日の発展に至りました。本年度は、Sincerity（誠意）、Skill（技術）、Science（学術）を病院のモットーとして掲げ、磨き抜かれた技と高い識見に裏打ちされた人間尊重の医療を実践し、皆様のご期待に沿えるよう、全職員一丸となって頑張っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(要注意) 風疹の流行が続いています

検査技師部長 宮本 和典

平成24年には2,392件の報告がありましたが、平成25年は、3月末時点で既に平成24年の報告数を上回り、6月時点で累計10,000人を超える流行となっており、平成25年12月18日現在、14,323例の報告がされています。

(厚生労働省 資料より)

風疹に対する抗体を持たない妊婦の方が風疹に罹患すると、赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障や緑内障などの障害（先天性風疹症候群）が起こる可能性があります。

しかし、風疹は女性だけが気をつければよいわけではありません。

平成24年の報告によると、首都圏や関西地方での報告が多く、患者の7割以上は男性で、うち20代～40代が8割を占めています。

妊娠中の女性は予防接種が受けられないため、周りの方の協力が必要となります。

女性のみならず、男性も予防接種を受けましょう。

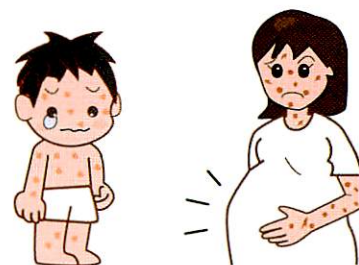


風疹の定期予防接種対象者

1歳児及び、小学校入学前の幼児は多くの市町村において無料で予防接種を受けられます。

また、妊婦を守る観点から

- ・ 妊婦の夫、子供及び同居家族等の妊婦の周囲の方
- ・ 10代後半から40代の女性
- ・ 産褥早期の女性、等



抗体価が十分であると確認できない方は任意での予防接種を受けることをご検討ください。

先天性風疹症候群は妊娠初期でリスクが高いため、妊娠初期の周囲の方はより優先度が高いと考えられます。

また、風疹の抗体価が低い方は麻疹の抗体価も低い傾向が見られることから、麻疹対策の観点も考慮し、麻疹風疹混合ワクチン（MRワクチン）を接種されることをお勧めしています。

土浦協同病院共催

「茨城県南悪性腫瘍研究会 第6回市民公開講座」開催

(日時:平成25年12月14日、場所:土浦市民会館、市民約100名参加)

がんセンター長兼産婦人科部長 島袋 剛二
事務部庶務課 皆藤 浩樹

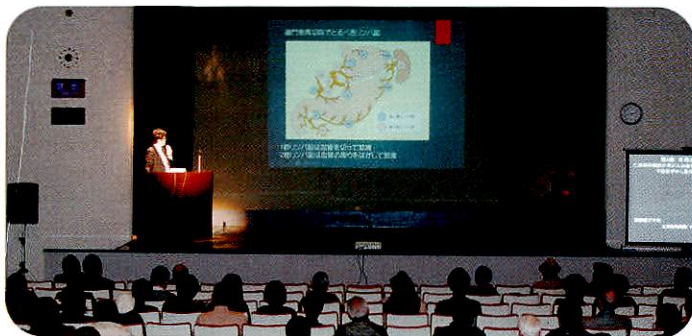
去る12月14日(土)に土浦市民会館で「県南悪性腫瘍研究会 第6回市民公開講座」が開催され、市民約100名の参加がございました。この講座は年に2回定期開催しており、市民の皆さまにわかりやすいように、がんやその治療に関することをテーマに講演しております。

今回は「土浦協同病院の胃がん治療すべてお見せいたします～予防医学から最先端治療まで～」と題し、胃がん治療に対する当院での取り組みを内科・外科治療から看護分野まで幅広く紹介いたしました。

中でも実際の手術を映像で紹介した講演に今回の特徴がありました。内視鏡での早期がん切除と腹腔鏡を用いた胃切除の映像での解説は、“どこにがんがあるか”や“どうやって切除するのか”という点が掴みやすく、皆さまに治療内容を理解していただく上で大変有用であったと思います。参加者の方からも“次回もぜひ映像を用いた講演を行って欲しい”というご感想が寄せられ、大変好評でした。

その他にも県内に数少ない化学療法専門医による講演や入院中の患者さんの看護に関する講演、さらに近年話題のピロリ菌についてや質疑応答コーナーなど盛りだくさんの内容で、皆さまにご満足いただけたかと思います。

次回は6月14日に大腸癌に関する講座を予定しております。皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

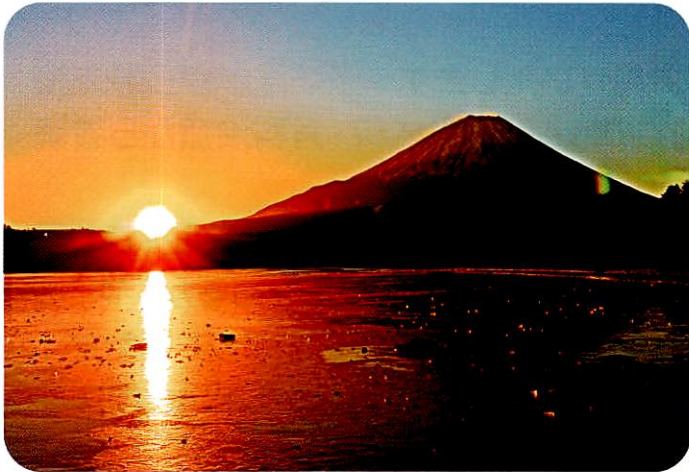


平成26年を迎え（世界文化遺産 富士山に想う）

明けましておめでとうございます。

下記の写真は、当院元事務部長 香取逸美さんの撮影された「富士山」の写真です。表紙の写真も同様です。ご存じのように「富士山」は、昨年6月「世界文化遺産」に登録されました。「日本のふじやま」から「世界のふじやま」になったわけです。

今回号は新年号ということもあり、新春の願いを込めて香取さんの撮った「日本のシンボル 富士山」の写真を数点掲載させていただきました。その姿を見てまさに「霊峰 富士」の威厳が感じられます。来年には当院も新しい地に新病院を開設いたします。今年は午年、飛躍の年を目指すとともに、富士山のようにどっしりと揺るぎのない新病院を創りあげられるよう努力してまいります。



撮影者：香取 逸美